

第3回 高津川河床掘削懇談会
～ 掘削状況と今年度の予定について～

平成29年 6月 22日

国土交通省 中国地方整備局

浜田河川国道事務所

1. 試験掘削の実施状況(H28年度掘削箇所)

- 平成28年度に安富地区において、伐木除根・掘削・法面整形・覆土を実施した。
- 掘削箇所上流部については、工事用道路として利用するため、現場発生のお礫を表面に敷き均した。
- 掘削土は細粒分が多いため、みお筋部への埋土は行わなかった。

H28年度掘削箇所



2. 掘削箇所の表面の対策

- H28年度掘削箇所(安富地区、5.4~5.8k)の構成材料は周辺の砂州に比べて、非常に細かい。
- 現状に対して比高が低くなるため、H29年4月17日出水時にも冠水している(高角地点 ピーク流量: 485m³/s)。
- 細粒分の流出による下流への影響が懸念されたため、掘削箇所下流部では掘削面に粒径2~15cm程度の礫を敷き均した(マルチング)。

安富地区の掘削箇所の状況

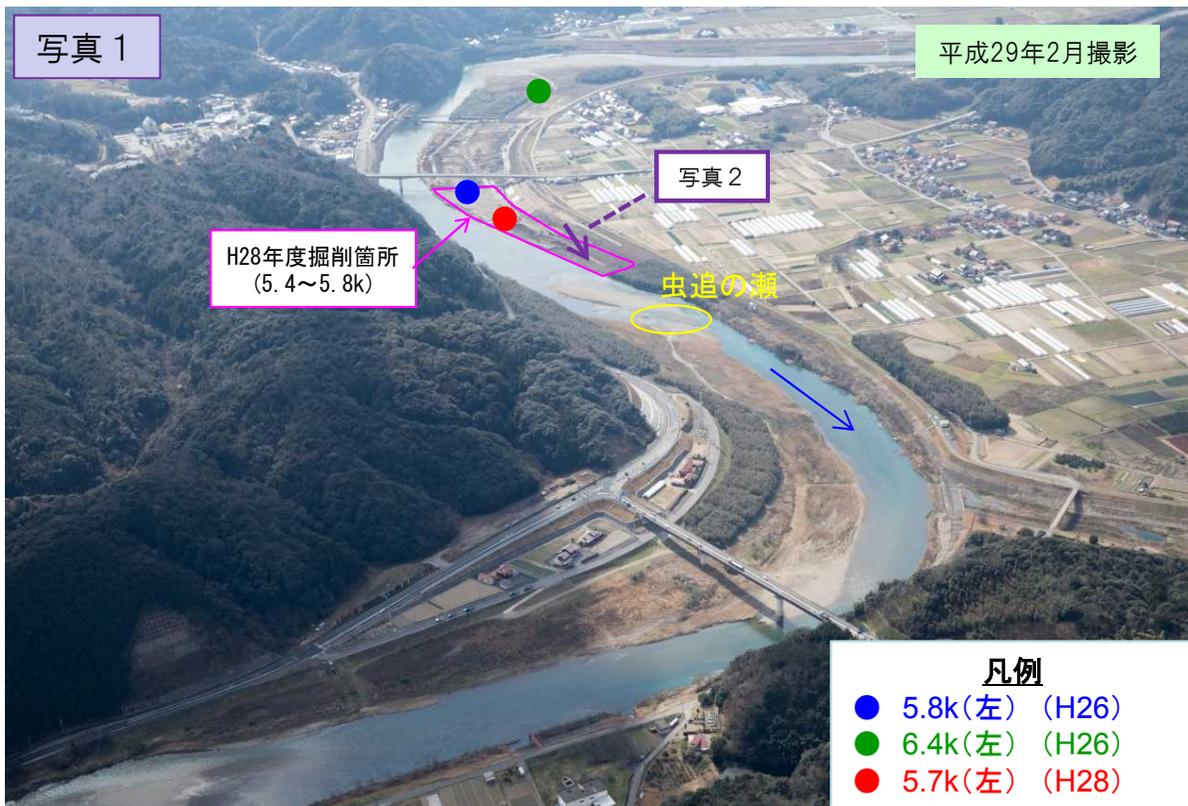
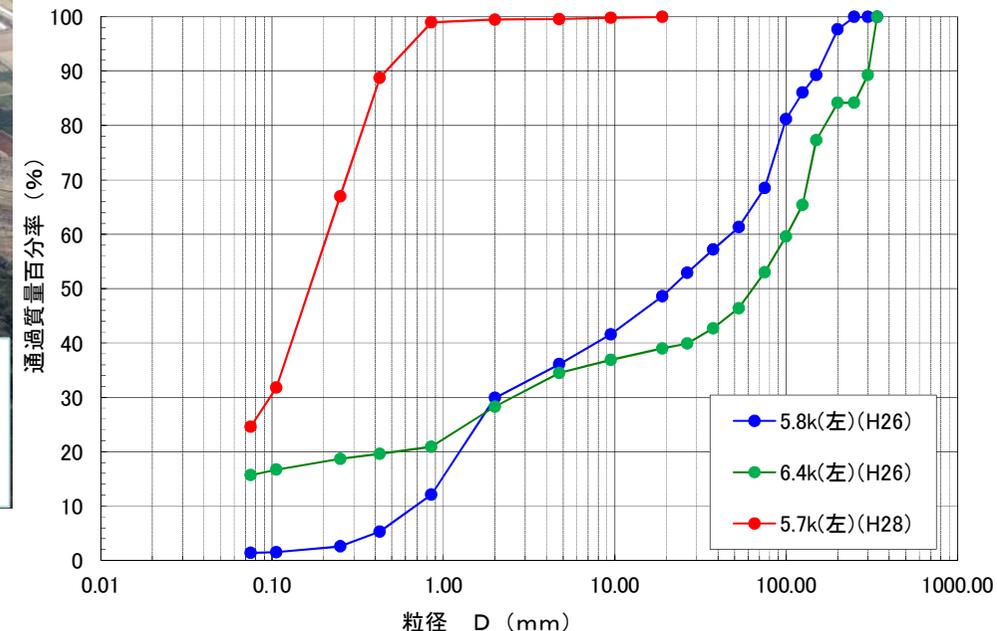


写真2



掘削箇所下流についてマルチングを実施



河床材料調査結果より、H28年度掘削箇所(安富地区、5.4~5.8k)の粒径は周囲の砂州と比較しても細かいことを確認

3. H29年度の掘削予定と掘削にあたっての課題

- H29年度：H28年度に引き続き安富地区において、河床掘削を実施する予定（現状では伐採のみ実施）。
- 伐採後も細粒分が露出しており、H28年度掘削箇所と同様に、細粒分の流出が懸念される。
- 掘削後の土質の状況を踏まえ、マルチングの実施については判断していく予定である。

H29年度掘削予定箇所

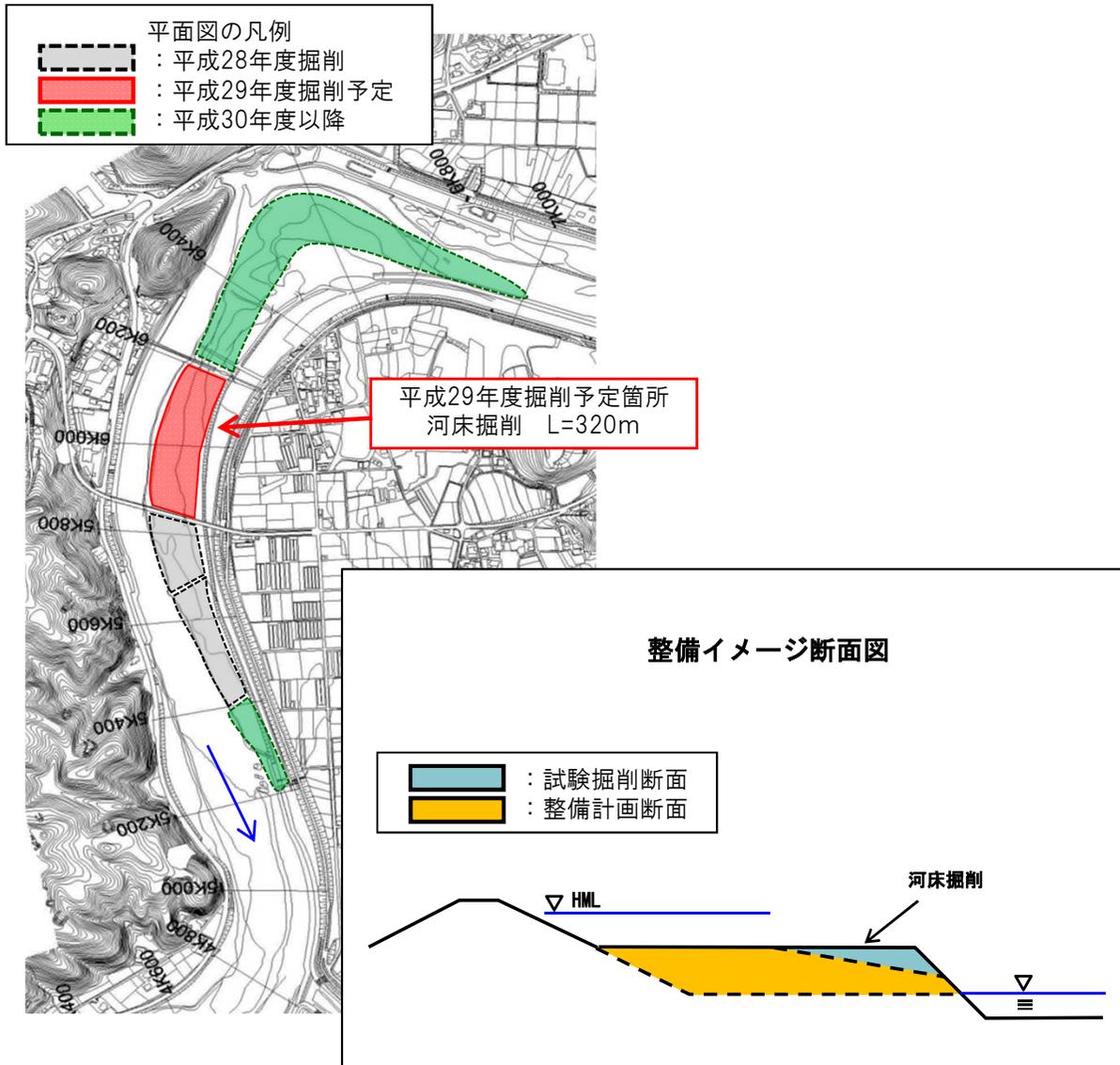


写真3

平成29年2月撮影



写真4

掘削予定箇所

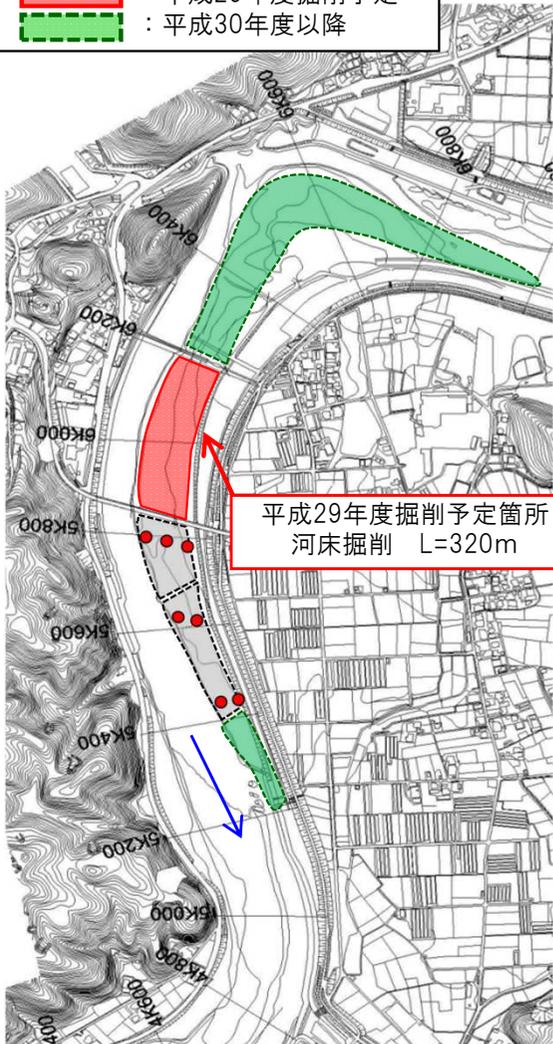


4. 今後のモニタリング計画(形状等の維持状況)

- 従来のモニタリング（アユ産卵場におけるモニタリング：資料-2参照）に加え、掘削箇所を対象に、掘削後の地形形状や地被状況が維持されているかを確認するため、モニタリングを実施する。

モニタリング箇所

- 平面図の凡例
- : 平成28年度掘削
 - : 平成29年度掘削予定
 - : 平成30年度以降



地形・地被状況のモニタリング

- ・ UAVにより垂直・斜め写真を撮影
- ・ 掘削範囲の外観を把握
- ・ 植生の分布を把握し、相観植生分布図を作成

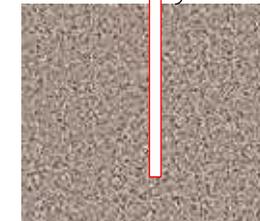


地盤高のモニタリング



管頂部はレベル測量する。

0.5m程度



出水後 ↓

管頂部から地盤までの高さの差分で地盤高変化を把握する。

